



国際ロータリー 第2570地区 新座ロータリークラブ会報 2023～2024年度

第1858号

# NIIZA Rotary weekly

令和6年6月20日 発行

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー 『世界に希望を生み出そう』



第2570地区ガバナー 高丹 秀篤 『希望を語ろう』

会長方針 森田 輝雄 『小さな夢を大きく育てよう!』

会長 森田 輝雄 副会長 岡野 元昭 幹事 神谷 浩一

第2237回例会 6月第1週2回目 6月6日(木)

講演会 『第12回 薬物乱用のない社会をつくるために!』

講師:NPO法人 埼玉ダルク 辻本 俊之氏

於:新座市立第四中学校



校長挨拶

校長 鮫島 弘樹



「薬物の乱用はいけない」ということは、皆さんよく知っていることと思います。それでも、薬物の乱用がこれだけ問題になるというのは、何故なのでしょう。それをよく理解するためには、薬物依存になってしまった方の話を聴くことがいちばん分かりやすいのですが、そうした機会はなかなかないものです。しかし、今日は新座ロータリークラブ

## 次第

### 講演「第12回 薬物乱用のない社会をつくるために！」

日時 2024年6月6日（木）14時45分～15時35分  
場所 新座市立第四中学校体育館 全生徒475名  
〒352-0004 埼玉県新座市大和田4丁目17番地1号 【TEL】048(477)6053  
議題 「薬物乱用のない社会をつくるために！」  
講師 NPO法人 埼玉ダルク 施設長 辻本 俊之氏  
主催 新座ロータリークラブ・新座こぶしロータリークラブ・新座市立第四中学校  
後援 新座市・新座警察署・新座市教育委員会

#### タイムスケジュール

(敬称略)

|             |   |   |
|-------------|---|---|
| 司会進行        | 新座市立第四中学校生活委員会  | 山田 幸司<br><small>はせが わひさかず</small>                                     |
| 14:45 開会の言葉 | 新座市立第四中学校教頭   | 長谷川久和<br><small>もりた てるお</small>                                       |
| 主催者挨拶       | 新座ロータリークラブ会長  | 森田 輝雄<br><small>くらもち たかなり</small>                                     |
| 来賓挨拶        | 新座警察署 生活安全課 課長  | 倉持 高成<br><small>さめしま ひろき</small>                                      |
| 校長挨拶        | 新座市立第四中学校校長   | 鮫島 弘樹<br><small>はせが わひさかず</small>                                     |
| 来賓紹介        | 新座市立第四中学校教頭   | 長谷川久和<br><small>とたか けんじ</small>                                       |
| 講師紹介        | 新座こぶしロータリークラブ会長   | 戸高 健司   |
| 14:55 講演    | 演題 「第12回 薬物乱用のない社会をつくるために！」<br>講師 NPO法人埼玉ダルク 代表   | <small>つじもと としゆき</small><br>辻本 俊之<br><small>やまもと ゆうな</small><br>山本 優奈 |
| 15:30 お礼の言葉 | 新座市立第四中学校生活委員会委員長   | 山本 優奈<br><small>はせが わひさかず</small><br>長谷川久和                            |
| 閉会の言葉       | 新座市立第四中学校教頭   | 長谷川久和   |
| 登壇者         | NPO法人埼玉ダルク<br>新座警察署 生活安全課 課長<br>新座市教育委員会指導主事<br>新座ロータリークラブ会長<br>新座こぶしロータリークラブ会長<br>新座ロータリークラブ青少年委員長 | 辻本 俊之<br>倉持 高成<br>三浦 史生<br>森田 輝雄<br>戸高 健司<br>大塚 雄造                    |



新座こぶしRC・新座RCの会員の皆様



「もし薬物に手を出したら、行き着くところは精神病院、刑務所、死・・・です」の言葉に会場は水を打ったような静けさでした。

さんと、新座こぶしロータリークラブさんにご協力を頂き、実際に薬物依存になってしまい、そして、現在はそこから立ち直った辻本様から、直接お話を伺う機会を設けることができました。お話を伺うと「決して遠い世界の話ではない」と気付くのではないかと思います。ぜひ、「自分事」として考える機会としてください。

## 主催者挨拶

新座ロータリークラブ 会長 森田 輝雄



こんにちは。新座ロータリークラブの森田輝雄です。本日「薬物乱用防止講演会」を新座こぶしロータリークラブと共催させて頂く事になり、講師に辻本俊之氏をお願いをさせて頂きました。時間の関係上はしよって挨拶をさせて頂きます。

本日の講演のテーマは「ダメ。ゼッタイ。」です。この社会で駄目な事。いけない事はいけないのです。本日これを持ち帰って頂きたい。「ダメ。ゼッタイ。」です。例えば信号機のある横断歩道で、信号が青から赤に変わった時、道路を横断してはいけないのです。友達が渡っても「ダメ。ゼッタイ。」これです。これと同じことが本日のテーマです。皆さん宜しくお願いします。

## 来賓挨拶

新座警察署生活安全課 課長 倉持 高成



森田会長、鮫島校長をはじめ本日の講演開催に尽力して頂いた方々に感謝申し上げます。

第四中学校の生徒の皆さん。薬物や酒、タバコなど、法律で禁止されているものは絶対にやらないと約束して下さい。

先輩や友達に誘われたら、生徒の皆さんはどうしますか？まずは相談して下さい。

皆さんの周りには先生やSOSダイヤル、警察署、サポートセンターなど相談に乗ってくれる人が色々います。相談窓口もいろいろあります。

皆さんは将来の日本、未来を作っていく大切な存在です。心も体も健康に大きく育ててほしいと切に願っています。今日を機会に禁止されている薬物等は絶対にやらない・迷ったり困ったりしたら相談するという事を約束して下さい。

皆様方には引き続き、警察活動へのご理解ご協力をお願いします。本日は宜しくお願いします。

## 講師紹介

新座こぶしロータリークラブ会長 戸高 健司



皆さんこんにちは。新座こぶしロータリークラブの戸高健司です。今日は、埼玉ダルクの施設長である辻本俊之さんに講演していただきます。

ダルクと言うのは、薬物依存症から回復したいと望む人たちが集まり、薬物をやめる手助けをする施設です。

辻本さんは十代の頃から薬物依存に陥り、治療法が見つからずに30代後半まで薬物を使用し続け、そして逮捕されました。その後、ダルクで薬物依存者の社会復帰を目指すプログラムを受け、現在は薬物依存者の社会復帰への手助けや学校での講演などを行われています。

それでは、埼玉ダルクの辻本俊之さんにお話をさせて頂きます。どうぞよろしく申し上げます。



本日は、私たちの為に時間を使って講演して下さいありがとうございました。今日の講演で、改めて薬物の危険性と係わらないことの大切さ学ぶことが出来ました。また実際に克服した体験談を聞いて薬物乱用はすごく身近にあるものだという事を知りました。そして今後も薬物には気を付けて絶対に係らないようにしようと思います。本日は貴重なお時間を本当にありがとうございました。

### 生徒さんの感想

薬物の乱用は自分とは関係ないものではなく、とても身近にあることなんだと改めて感じました。先生が言っていたように、「朝・昼・晩の食事をしっかりと食べる」というあたりまえのことが薬物乱用の防止に繋がっていくから、まずは「あたりまえ」がしっかりとできるように生活していきたいです。

今回、薬物乱用防止教室で実際に話を聞いて、この薬物乱用防止教室を何回も行ってくださっても、中では乱用してしまう人がいることを知りました。この授業を受けて自分の中でどれだけ薬物乱用が危険なのか考え、日々きちんとした生活を送っていくことがどれだけ重要なのかを改めて知ることができました。そして、周りでこの薬物乱用がどれだけ身近なのか知ることができたので、もしもやっちゃっている人がいた場合、自分は流されないように自分の意見もちゃんと言えるようになり、今後も危険なことに気を付けて生きていこうと思いました。

これまで小学校で違法薬物などについて学んできたが、自分に関わりがそれこそないと思っていたので怖いものなんだ...というぼやあとした印象しかなく、今日の実際の体験談を聞いて本当に驚いた。衝撃的過ぎて本当に関わらないようにしようと思っただけで心から思った。

自分がどれだけ信頼している人でも、薬物を誘ってくる人は、自分にとっても相手にとってもなんの関係でもないということがわかりました。なので、誰も信用しないとかではなく、自分のことを大切にしてくれる人を、自分も大切にしていきたいと思います。

どんな理由があっても、薬物を使用してはいけないと経験者の話でわかりました。薬物乱用は自分を苦しめるだけでなく、周りの関係などを悪化させ、今後の人生に影響することがわかりました。薬物に手を出してしまった人に対して、僕は同情などは出来ないけど、やめようとするその気持とかは大切だと思ったし、そういう人たちを助けようと動く人もすごいと思いました。

最初、薬物乱用防止教室は今までDVDや警察の方がお話されていたので身近にあると知っていても自分には一生関係ないことだと思っていました。でも実際の体験談を聞いたことで、より身近にあること、いつ自分に関わってしまうのかわからないものだという事を知ることができました。特に衝撃的だったことが、アルコールも薬物乱用のほうに入ることを知りました。風邪薬などは処方箋をもらうときも「絶対にこれ以上飲んではいけない」といった表示があるため、知ってはいたのですが、ついつい鎮痛剤など多く飲んでしまうことも身近なことであるのだなと知りました。自分の中でだめと思っても周りに流されてしまう危険性も十分にあることを知りました。これからの生活、自分の中でないように気をつけて過ごしていきたいと思いました。